

# 令和2(2020)年度 横須賀法律行政専門学校 自己評価報告

## 1. 教育理念(教育目標)

- (1) 高品質・高信頼なサービスを提供するため、行政・法律に関する知識・見識を構築する
- (2) 多様な課題を解決する施策・方策を起案するため、論理的な文章作成能力を養成する
- (3) 社会への奉仕者として慈愛の精神を培うため、豊かな人間性を涵養する

## 2. 教育目的

法律・行政並びにビジネスに関する専門知識及び理論を習得させ、職業若しくは實際生活に必要な能力の育成と教養の向上を図る

- 行政事務コース ..... 国家公務員・地方公務員などを目指す
- 警察官・消防官コース ..... 公安系公務員を目指す
- 基礎教養コース ..... 社会人として必要な基礎力を身に付ける
- 総務・経理コース ..... 民間事務職を目指す

## 3. 評価項目の達成および取り組み状況

### (1) 教育理念、目的、人材育成像

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		④	3	2	1
教育理念・教育目的	教育理念(教育目標)・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
	教育目的は定められているか	④	3	2	1
	学校における職業教育の特色は明確か	④	3	2	1
	社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	④	3	2	1

#### ①現状

教員と学生募集スタッフが連携し、入学希望者の教育環境・家庭環境を鑑み、学生本人の希望および適性に合わせた人材育成を心掛けている。

教育理念および教育目的については、問合せ者や入学希望者には、必ず入学前に本人に来校を促し、説明・確認を行っている。入学後は入学時4月の導入期間に徹底している。

#### ②課題

教育理念に掲げた人材育成ができていないかの評価について、卒業後の実態調査が不十分であり、正確な状況把握ができていない。

#### ③改善方策と今後の取り組み

卒業生に対し卒業後の状況をアンケート調査し、現状を把握したうえで、社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想について、「次世代の人材育成」という視点で見直し検討をはかる。

#### ④特記事項

コロナ禍の影響で、イベントの開催および高校ガイダンス開催が制限され、問合せ者に対して来校を促すことが難しかったことを踏まえて、ネットワークを活用した新たな本校の人材育成像の伝え方について模索する。

## (2) 学校運営

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		④	3	2	1
事務組織・ 意思決定機関	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
	運営組織や意思決定機能は、効率的か	④	3	2	1
	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
諸規定の制定	人事・給与に関する制度は整備されているか	4	③	2	1
	人事・給与に関する制度の定期的な見直しはされているか	4	3	②	1
学則・内規等の整備	学則等の定期的な見直しはされているか	④	3	2	1
防犯対策	学生及び文書・備品等を守るための防犯対策は整備されているか	4	③	2	1
	教職員の防犯に対する認識は徹底されているか	4	③	2	1
	安全計画・消防計画は作成されているか	4	③	2	1
個人情報の保護	個人情報保護法は遵守されているか	④	3	2	1
	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
	情報システム化による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

## ①現状

新型コロナウイルス感染防止に関する政府からの方針に従い、地域および高校など他校の対応を鑑み、実施期間を定め運営方針を全教職員で確認した。

新たな生活様式にしたがって、試行錯誤しながら学校運営を進めていった。

諸規定の制定については、外部理事の指導のもと、他専門学校の規定を参考に見直しを行っている。ファイルサーバー入れ替えに伴い、教職員が常に閲覧できるよう諸規定を保管し、現状に合わせ見直しを行っている。

## ②課題

校名改定時に各種規定は整備されているが、現行と異なる点の検証が必要であり、再度教職員への周知徹底する必要がある。

## ③改善方策と今後の取り組み

諸規定に見直しについては、全教職員による検討会を実施し、現行に適用できるよう意見集約を行ったうえで、改定版を作成する。理事会を経て、全教職員が常に閲覧できるよう整備する。

## ④特記事項

新型コロナウイルス感染防止の観点で講じた新たな生活様式に対応した学校運営について、教職員で検証し、新たな規定の必要性の有無を検討する。

## (3) 教育活動

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
カリキュラム	教育目標・育成人材像は、対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1
	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
	カリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
教科の指導	シラバスの作成、学生への提示はされているか	4	③	2	1
	教育方法の工夫・研究の取り組みはされているか	4	③	2	1
資格試験	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
	不合格者への対応はされているか	④	3	2	1
成績評価	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
	成績不良者への対応はされているか	④	3	2	1
教職員の組織	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
	担当業務の内容と全体のバランスはとれているか	4	③	2	1
	関連分野における知識・技能等を修得するための研修や資質向上のための取り組みが行われているか	4	③	2	1
	職員に必要な知識等を修得するための研修等が行われているか	4	3	②	1

## ①現状

オンライン授業への対応に伴い、緊急事態宣言が発令されるたび、教務会議を開催し、時間割、授業運営、指導方法について意見交換を行った。また、他の教員の授業の進め方や ICT 活用など教職員の勉強会も兼ねて実施した。

外出自粛に伴うテレワーク推進のため数少ない教職員で教育活動を行うため、担当業務の負担にばらつきが出てしまった。

## ②課題

今後も内部研修など OJT の充実は難しいので、Off-JT を推進し、それに伴う体制を継続していくことが求められる。

## ③改善方策と今後の取り組み

新しいタイプの公務員・就職採用試験に準じて、次年度の授業の進め方やカリキュラム、シラバスの見直しをはかり、対面授業とオンライン授業を併用した時間割の組み方も検討する。

教職員に必要な研修は、外部で実施しているオンラインセミナーなどを活用し、自己啓発をはかり、そこで得た知識・技術を持ち寄り、定期的に勉強会を実施する。

## ④特記事項

新型コロナウイルス感染防止の観点で講じた新たな生活様式に対応した教育活動について、教職員で検証し、有効な活動については、次年度の教育活動に反映させていく。

(4) 教育成果

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
在学者・中退者の状況	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
	理由別退学者の状況を把握しているか	④	3	2	1

①現状

資格試験の中止や就職活動が計画的に行えなかった。そのため、年度内に内定が取れず、資格取得や公務員試験に再挑戦する卒業生が出てしまった。

新入生に関しては、他校や大学受験からの進路変更者については、コロナ禍の影響で早期就職を希望し退学となってしまった。

②課題

オンラインによる就職活動やネットワークによる資格検定試験に対応できるよう就職支援や資格対策の見直しが必要である。

③改善方策と今後の取り組み

コロナ禍での就職活動について、学校としても不慣れな部分があった。それによって得られたものと改善点などを整理し、より最善な判断を下していけるように取り組んでいく。

④特記事項

## (5) 学生支援

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		④	3	2	1
進路・就職対策	進路・就職相談を実施しているか	④	3	2	1
	卒業後の進路調査の徹底はされているか	④	3	2	1
学生相談	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
	相談者の守秘義務を徹底しているか	④	3	2	1
経済支援・健康管理	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
	奨学金制度は整備されているか	④	3	2	1
	奨学金貸与者の推移を把握しているか	④	3	2	1
	学生の定期健康診断を実施しているか	④	3	2	1
	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
	保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
卒業生への支援対策	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

## ①現状

担当教員を設置するのではなく、クラス担任を中心に教職員全員で学生支援を行っている。

コロナ禍による政府の方針にしたがって、授業運営を行ってきたが、進路・就職対策については、十分な支援が行えなかった。しかし、LINE や ZOOM 等 ICT を活用し相談や質問を受けて、迅速な連絡・指導を個別に行うことができた。

## ②課題

## ③改善方策と今後の取り組み

## ④特記事項

## (6) 教育環境

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
施設・設備	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	③	2	1
	教室・実習室の面積は適切か	④	3	2	1
	自学・自習室はあるか	④	3	2	1
	バリアフリー化への着手・状況を把握しているか	④	3	2	1
	各室の安全性・衛生面は考慮されているか	④	3	2	1
	卒業生への利用希望への対応はされているか	④	3	2	1
機材・備品	教育用機器備品の整備はされているか	④	3	2	1
	視聴覚・情報機器の整備はされているか	④	3	2	1
	機材・備品の使用頻度を把握しているか	④	3	2	1
課外授業・学校行事	学校行事等による学生間・学年間の連帯意識の育成はされているか	④	3	2	1
	学校行事等による学生間・教職員間の連帯意識の育成はされているか	④	3	2	1
危険管理と危機管理	担任制による学生への対応の徹底と認識がされているか	④	3	2	1
	授業内に発生した事故への適切かつ迅速な対応がされているか	④	3	2	1
	防災の対応マニュアルの作成と適切な対応がされているか	④	3	2	1
	防災訓練等による学生への防災対策の周知はされているか	④	3	2	1
	教職員への危険・危機管理を周知徹底しているか	④	3	2	1

## ①現状

施設・設備が老朽化してきているため、長期計画で修繕を行っている。今年度は各教室の冷暖房機器の改修を行った。

オンラインによる授業や就職活動に準じて、Wi-Fi 環境を整備したが、十分に活用できているとは言えない。

課外授業・学校行事は、3 密に配慮し企画・計画を立て実施することにより、学生間の連帯意識を持つことができた。

## ②課題

緊急事態宣言に伴い、その都度教職員間で意見交換し危機管理を講じてきたが、テレワークや時間短縮の推進により、次年度に向けて、全教職員で検証する時間をとることができていない。

## ③改善方策と今後の取り組み

今年度のオンライン授業や就職活動の状況を整理し、教職員で共有できる仕組みを確立する。

コロナウイルス感染防止対策を含めた学校安全管理マニュアルの見直しを行い、教職員に対し勉強会を実施し周知徹底をはかる。

## ④特記事項

## (7) 学生募集

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		4	③	2	1
学生募集広報	学生募集活動は適切に行われているか	4	③	2	1
	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
	学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

## ①現状

高校訪問やオープンキャンパス開催など学校内イベントに制限がかかり、思うような学生募集活動ができなかった。また、新たな生活様式に対応する授業運営に時間をとられ、問合せ者に対する有効な情報発信が全くできなかった。

## ②課題

募集・広報担当者が授業運営を掛け持ちしているため、テレワーク等推進による欠員リスクなどを踏まえると、思うように広報活動ができていない。効率的な募集・広報活動を考えれば、専門・広報専任者を設定できるのが望ましい。

## ③改善方策と今後の取り組み

高校訪問や高校ガイダンス参加を中心とした募集活動を見直し、オンラインイベントの開催や動画配信など、積極的に ICT を活用した募集活動を検討する。

## ④特記事項

## (8) 財務

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
		4	③	2	1
財務状況	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
監査	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
	財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

## ①現状

財務諸表、会計監査報告書

## ②課題

学生数が少ないため、収支のバランスが悪い。

## ③改善方策と今後の取り組み

## ④特記事項

## (9) 法令遵守

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
法令遵守の状況	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1
	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
適切な学校評価の取組	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
	自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

## ①現状

自己評価は行っているが、現場の業務を優先してしまい思うように改善されていない。

## ②課題

自己評価の問題点の検証と改善策の検討が行われていない。

## ③改善方策と今後の取り組み

今回の自己点検の結果を踏まえて、「法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営」という観点で、年内には全教職員で検証・検討会を実施し、総点検を行う。

## ④特記事項

## (10) 社会貢献／国際交流

中項目	小項目	適切:4、ほぼ適切:3、 やや不適切:2、不適切:1			
社会貢献等の取組	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	③	2	1
	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4	③	2	1
国際交流の状況	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2	①

## ①現状

例年実施している小中学生や高校生を対象とした前半の講座が中止となり、社会貢献の取り組みとしては不十分だった。

## ②課題

## ③改善方策と今後の取り組み

従来の講座内容を見直し、オンラインによる講座の開催も検討していく。

## ④特記事項